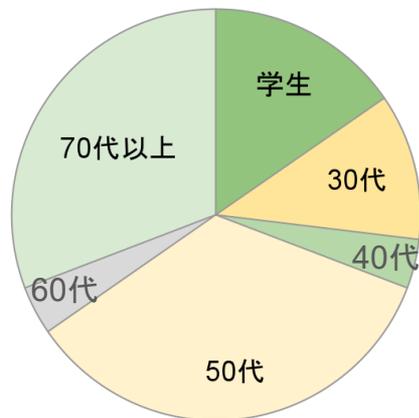


2025年「52間の縁側」見学会 アンケート 集計等



学生さんから80代の方まで幅広い年齢層の方々のご参加がありました。多くの賞を受賞された建物とそこでの地域住民やデイケア利用者、高齢者や子供まで多世代の共助による「みんなの居場所」を見学された参加者の感想をぜひお読みください。

■ 見学会に参加された方々の年代の分布
(参加者全員26名)

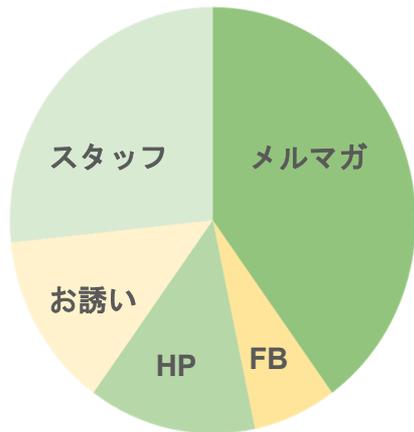
■ 全体の評価



縁側に腰掛けて施設の鈴木さんのお話を伺いました。

庭には近くの大学生や小学生が小さな子供と遊んでいます。食堂ではおやつの時間が始まったところでした。ゆっくり流れる時間の中でそれぞれの人があるらしい過ごし方ができる居場所。介護を受ける人、お世話をする人、そして見学者もお互い様、ありがとうございますの関係をこの縁側は作っているようです。

■ 参加のきっかけ



参加のきっかけはメルマガが多いようです。名簿へのメールアドレスの登録、またアドレスを変更された方は名簿の登録変更も忘れずをお願いいたします。

在学生への告知をもっとしてほしいとのご意見をいただきました。学校との連携をより深められるよう検討いたします。

■ 「52間の縁側」見学会の感想

・素晴らしい企画でした。運営の方のお話しも聴くことで、より建築について学ぶことができました。

・施設の方の説明が大変良かったです。長時間を割いていただきご負担をお掛けしているのですが、見学者が理解を深め、単なる建築見学に終わらない見学会は大変に価値あるものですので、実際に稼働されているときに伺い、様子を各自の目で見て、良いことも難しいことも生のお声で聞けて、スライドで一年間の様子を見させていただく。大変身になる流れの見学会でした。「地域に開く」は言われがちなコンセプトではありますが、石井さんちはそれを見事に体現されている場でした。高齢者や地域に対しての考え方、建築が力になれること、私自身が次に広がりをもって活かせるようにしたいと思います。企画係の皆様、開催ありがとうございました。

・運営を通してハードがどの様な役割を果たしているかのお話が気づきになりました。もう少し計画段階での経過も聞きたかったです。

・周囲の環境や、さまざまな人が「ごちゃまぜ」に心地よく存在していてとても心地の良い場所でした。突然外から訪れた見ず知らずの集団の私たちにも利用者さんやスタッフさんが笑顔を向けてくださり、日常的にこのように過ごされているのだと感心しました。何より、建築家、山崎さんとの信頼関係が素晴らしく、みなさんが、この建築に愛着を持たれていることを感じました。ソフトからハード、ハードからソフト、ハードとソフトの間も行き来しながらごちゃまぜに。時間をかけてみなさんで大切に作られてきたことを感じました。貴重な体験をありがとうございました。

・介護の常識にとらわれない施設運営にぴったりの素晴らしい建築でした。短時間でしたが、あの空間で過ごせたのは、幸せでした。鈴木さんの説明も興味深い内容で、とても良かったです。縁側の素晴らしさ、また、昔の日本の良さを思いおこすことができました。

・色んな人が建物の中だけでなく、縁側でも、外でも自由に差別なく過ごされていました。作った方々の思いが伝わる空間は使う人もそれを大事に使い、考え育てていくのだと実感しました。

・開かれた介護施設、そしてゴチャマゼケアをみせて頂ける機会は、まず貴重である。ハードがソフトに与える影響、建築のチカラを実感されたスタッフの声は、建築家冥利に尽きる！というより、山崎健太郎と言う人間力とも言えるであろう。お互いさま！お陰さま！足りないところにありがとうが生まれる。

・建築空間そのものへの興味から、本見学会に参加させていただきましたが、施設の職員の方からソフト面についてのお話をうかがい、ハード面とソフト面の共鳴を間近に見ることができました。建築を学ぶ中で、自分自身が空間のあり方を検討することがメインとなってしまうことに気づかされ、よい設計をするために、その施設が、どのような人たちの、どのような姿勢をもってして、どのようなあり方であるべきか、といった視点を忘れないようにしたいと思いました。社会に出る前に、忘れてはならない視点を学ぶことができた、非常に有意義な見学会でした。ありがとうございました。

・とても興味深く見学させていただきました。自分の仕事のソフト面、ハード面でたいへん参考になりました。住居学科卒業生の方々とご一緒できたのがまた嬉しかったです。家族も参加させていただき、お計らいをありがとうございました。

・「こうあった方が良い」と考える介護やそれを取りまくいろいろが、52間の縁側では実際にやっているということが本当に素晴らしいと思いました。その考え方に合った建物があるだけではもちろん成立しないし、「こうありたい」と思っても、建物や立地がなかなかそれを許容できないこともあるし、思考と建物と行動がお互いにバランスを取り合っている様子を実際に見ることができてとてもよかったです。

・運営の方のお話を聞いたことがとても理解につながった。はじめ、お年寄りやスタッフの方だけでなく、地域の小学生や中高生が大勢いたので驚いた。ケアされる高齢者、ケアするスタッフ、など一方的な関係性にならず、お互い様の精神があることは大切だと学びました。そしてそれが理想論として終わるのではなく、建築空間があることで実践できているのだと思いました。参加できてよかったです。

・「ごちゃまぜケア」の日常のありのままを説明してくださった鈴木さんからは建物への愛着と信頼が感じられ、日々の営みに建物と空間が大きな役割を果たしていることが理解できました。建築家山崎さんが石井さんの哲学をかたちにしてゆくまでの難題と解決策をうかがいたいくまりました。ちょうど介護を自分事とらえるようになり、考えさせられることがたくさんありました。いろいろな人がその人らしくいられる居場所とは。不便さからコミュニケーションが生まれる。おたがいさま・おかげさまの気持ちが笑顔に。スケジュールなしで共に生活する日常。お年寄りと一緒に過ごす子どもたちが老いを学ぶetc.縁側に座ってあたりを見渡すと子どもとヤギが遊んでおり、私たちの前を学生さんが楽しそうに横切り、背中のガラス越しに利用者さんが笑顔で手を振ってくださる。なんとも自然な心地よさを感じました。建物見学だけでなくみんなの居場所の日常を教えていただいた貴重な見学会だったと思います。

■ 見学会全体を通してのご意見 ご要望 ご感想など

・勝田台駅からマイクロバスもご用意いただき、安心して本見学に参加することができました。貴重な体験をありがとうございました。

・建築とは少し離れた仕事をしているため、今回の見学会で初めてこちらの施設を知りました。友人に誘われて参加しましたが、非常に実り多い時間を過ごすことが出来ました。急なバスの手配など、企画に携わった方々はご苦労が多かったと思いますが、ありがとうございました

・建物を見学する機会は本当に貴重で、それを計画してくださりありがたかったです。企画、各所とのやり取り・調整、連絡などなど、本当にお疲れ様でした。大変お世話になりました。ありがとうございました！

・久し振りの参加でした。神奈川方面だと、ちょっと遠方になるので、地理的にありがたかったです。

■ 住居の会イベントへのご意見やアイデア

・はじめてイベントに参加させて頂きました。個人ではなかなか見学がしにくいところや20~30人いれば出来ることなど、今後も参加させて頂きたいです。次々回以降のアイデアはまたコア会議などで雑談でお話しさせてください。お疲れさまでした。ありがとうございました。

・いつも素敵な企画をありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

■ 住居の会イベントへのご意見やアイデア

- ・ 即、実行の住居の会に感謝いたします。今年は会の設立40周年と伺いました。建築デザイン学科変更に伴う会の名称も含め、変わる会、変わらぬ会、岐路に立って更に期待しております。
- ・ 大学の授業では、見学会などの課外学習の機会はなかなか少なく、また見学会の機会を設けていただかないと行ってお話を伺うなどはなかなかできません。私自身、毎年の見学会でとても学びが多いです。ですので是非、在学生に積極的な告知をしていただくと良いかと思えます。
- ・ 企画係はじめ執行部の皆さま、いつも楽しい企画をありがとうございます！

アンケートへのご協力ありがとうございました

お寄せいただきました貴重なご意見を参考にさせていただき、より多くの方々に楽しんでいただけるような企画を検討してまいります。

住居の会 企画係 kikaku_m@jyukyo.net